

1. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
① 教育・保育目標について	<p>「自ら学ぼうとする力の育成」を基にし、</p> <p>○いきいき：明るく伸び伸び、元気な心と体をもっている。何事にも意欲的で自分の思いが言える。</p> <p>○かがやく：認められることで安心感や自信を持ち、やりたいことを見つけ最後まで粘り強く行える。</p> <p>○わかさっこ：若桜を愛し、地域の方に見守られすくすく育つ。</p> <p>このようにいきいきかがやくわかさっこを育てていきたい。 今年度の課題を出し合い来年度の研究の重点目標の設定につなげていきたい。</p>
② 学級経営 (研究・研修)について	<p>*ねらいを達成するために、子どもの実態、興味や関心を捉えて計画の立案に反映している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの子どものありのままを受け入れ、安心した環境の中で生活できるように心がけている。 ・質の向上に向けた保育研修の開催方法はコロナウイルス対策により、オンデマンド研修方法が多かった。この方法により職員全員が園内で研修を受けることが出来たため、共通理解につながった。 ・今年度は、外部研修や指導を受ける機会の確保が出来なかったが、その分園内研修の充実を図ることが出来た。今年度の新たな取り組みとしては、園内の公開保育を行い、他のクラスの保育を指導案に基づき、保育をお互いに見せ合うことで自分の保育の振り返りや学びにつながった。園内の子ども全体の育ちの確認が出来た。 ・日々の連絡帳のやり取り、送迎時もコロナウイルス対策で玄関での受け渡しを行っているが、園の様子を細かく個別に伝えている。 ・保護者の日頃の悩みにも適宜応じている。個人懇談、希望懇談もコロナウイルス対策を取り実施した。 ・基本的な生活習慣については、個々の状況に合わせて家庭と連携をとることを心がけた。また、家庭の実態把握として学園と共同の取り組みを行い、機会あるごとに情報提供や相談体制を作っていた。 ・食育活動では、菜園で収穫したものを利用してのクッキング活動など、各年齢で十分衛生面に配慮をして行うことが出来た。

<p>③ 保護者支援の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 戸外遊びの充実には、園庭の利用を季節ごとに考えて、それぞれの年齢で十分時間を確保し取り組めた。 <p>* 特別支援</p> <p>特別に支援のいる子どもに対しては、支援会議を設けてその園児の状態を全職員で共有する。クラスの中で気になる子どもに対しては、園内会議等で支援方法を共通理解した。また、保護者理解のもと、専門機関への連携を密にし、関係機関、医療機関との連携を取り、共に支援方法の課題解決に努めた。</p> <p>* 家庭との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> • お便りや毎月のクラス便り、送迎時の連絡、玄関掲示等を今まで以上に細やかに行い、保護者へ園内の様子などを伝え、保育・教育の理解に努めた。 • 年間行事予定表の配布などによりお休みを計画的にとられる保護者もあり、開催日の分散参観日の対応を行った。両日共に参加率が多かった。 • 事前に講演会の内容のパンフレットを配布したことで多くの参加があり、子育てへの関心の高さが伺えた。今後も協同子育てに努めたい。 • 子どもの様子を伝えるだけでなく、子育てにとって大切なことなど、園での生活の中で気付いたことを保護者と共に考え、解決をしていく体制をとる努力をしたが十分ではなかった。 <p>* 地域の子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> • 誰でも利用しやすい環境づくりはできている。 <p>現在は、支援センターに参加の方のみのサービスの提供になっているため、今後は地域の子育ての拠点施設としての役割を果たせるようにしていきたい。</p>
<p>④ 施設・整備・運営 (保健・安全) について</p>	<p>* 健康・安全体制</p> <p>安全管理マニュアル(安全計画)を基とし、行っている。また、職員にも周知されている。各クラスの目に触れやすい場所にマニュアルを掲示している。コロナウイルス感染防止への対策は、その都度変わっていく対応を職員で確認して行った。保護者への文書も各家庭に配布したり、玄関掲示で更なる徹底をお願いした。</p> <p>* 運営・管理・社会的責任</p> <p>保育者自身の人権感覚を研修で深める中で磨き、子どもに最善の利益を保障できるよう、今後も人権を大切にする保育に日々努めていきたい。連絡体制の対応はできている。</p>

2. 今後に向けて

今年度の評価・反省を踏まえて、PDCAサイクルを活用したカリキュラムマネジメント及び記録の取り方の工夫などをし、新年度に向けて取り組みを行う。コロナ禍での保育・教育を充実させていくための園内研修の内容検討や保育・教育の質の向上に努めていきたい。また、個々の自己評価が園全体の自己評価につながっていくので、日々保育を振り返り、研修を行うことが大切であると痛感している。保育者一人一人が専門性を高め、園全体の質の向上に今後も努めていきたいと考えている。

3. こども園関係者評価委員の評価

評価項目	評価
教育・保育内容全般について ・教育・保育目標や目指すこども像に近づく取り組みがなされているか	<ul style="list-style-type: none">・「主体的」になるための声かけ、待ちの姿勢が見られた。若手保育士の指導の視点もそういった点の助言をされていたように感じた。挨拶が自発的にできるようになるとよい。・人権公開保育を短時間参観したが、どのクラスも子どもの姿を捉え、目的を持った環境構成がしてあり、園の工夫や取り組みが感じられた。・若い先生方をいかに育成していくかが重要なポイントだと思う。・人権公開保育参観日では、誰一人取り残されることなく、一人ひとりの子どもさんが熱心に考えや、協力し合ったり安心できるつながりの中で楽しく遊ぶ姿が見られた。
子どもについて ・元気でいきいきとした姿で過ごしているか ・情緒も安定し、表情豊かに過ごしているか	<ul style="list-style-type: none">・こども園だよりを読む中で、園行事や日々の保育の取り組みを通して、子ども達が友だちとの関わりと、つながりを大切にし、いきいきと過ごしていることが良く分かった。・保護者アンケートで高い評価が得られていて良いと思う。
教職員について ・子どもに愛情と誠意をもって接しているか ・子ども一人ひとりの良さを引き出そうとしている	<ul style="list-style-type: none">・園内公開保育を実施され、職員が自分の現状を見直しされるなど、保育技術の向上を目指された。また、他クラスの子どもの育ちも共有され、園の送迎時等にも子ども一人ひとりに積極的に声をかけられ、保護者の信頼も得られている様子がうかがえた。・自己評価の指導について項目のAが少ないように思った。
地域・保護者との連携について ・地域や保護者から親しみやすい園だと感じられているか。 ・地域や保護者と連携がとれているかどうか。	<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍で地域の方や保護者との交流・連携は取りにくかったと思うが、こども園だよりを地域でも回覧され、こども園が身近に感じられるような取り組みをされた。・コロナ禍で感染対策を取りながら、懇談会、夏祭り、運動会、生活発表会等の機会を確保されたことは貴重。・気軽に相談できる園、通わせてよかったと思える園ということが、保護者にとって大切だと思う。

<p>安全管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園の安全計画に沿って、安心、安全に子ども達が過ごせているか。 ・家庭との連携を図っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の交通安全や災害などの訓練に加え、コロナウイルス感染症対策の強化にも対応し、マチコミメール等で臨機応変に家庭との連携を図られた。 ・安全・安心は最重要事項で職員の危機管理能力は高めておく必要がある。
<p>★その他の御意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も、保護者からいろいろな要望が出されたようだが、その意見も前向きに検討され取り入れられており、今後も子ども達の育ちの為、保護者と気持ちを共有できるよう工夫して、園運営を頑張ってください。保育のマンネリ化を指摘されている保護者もあったが、今後も様々な研修を受けて資質向上に努めていただきたい。 ・月々のこども園だよりは写真も多く園の様子を見ることが出来、楽しみだ。困難な時であっても、子ども達は毎日元気でこども園に通っているんだと元気を頂くと同時に先生方の忍耐と努力に感謝している。 ・園長の管理職（組織のトップ）としての資質向上に努める事。 ・職員に笑顔と活気が見られないのが残念。 ・保育の資質（向上しようとしている努力）をあげるように努める事。 ・評価分析が適切にされていなく、生かされていない。 ・コロナのせいにして消極的。 ・評価制度のPDCAサイクルの意味を理解し改善・向上に努力する事。 	

教職員個々の自己評価、保護者アンケートの結果なども参考にした園の評価結果や評価委員さんによる園評価でいただいたご意見等を参考に、今後の園運営に生かしていきたいと思えます。

令和4年3月25日

若桜町立 わかさこども園
園長 小林 宏 美